

北海道江別市の観光戦略を支援する Web サイト構築

On Constructing Web Site and Strategy for Tourism in Ebetsu City

斎藤 一^{*1,2} 石井 真人^{*2} 安田 光孝^{*1} 隼田 尚彦^{*1,2} 向田 茂^{*1} 三浦 洋^{*1}
 Hajime Siato Msato Ishii Mitsutaka Yasuda Naohiko Hayata Shigeru Mukaida Hiroshi Miura

^{*1} 北海道情報大学 情報メディア学部 Faculty of Information Media, Hokkaido Information University
^{*2} 北海道情報大学大学院 Graduate School of Hokkaido Information University

Ebetsu city is located in the southwest corner of Hokkaido's Ishikari Plain. This document describes the web site and strategy for tourism in Ebetsu city.

1. はじめに

北海道江別市は、石狩平野の中央部に位置し、札幌市に隣接した人口約12万人の街である。レンガを含むやきものが特産品のひとつとされ、毎年、道内の陶芸作家等が一堂に会する「えべつやきもの市」を開催している。本研究では、これまでに、第三世代のバランス・スコアカードを用いて、観光資源としての「やきもの」を活用した、江別市の新たな観光戦略策定を行った。本稿では、これらの調査結果と策定した戦略について説明する。また、やきものまち江別をPRするためのWebサイトについて、特にやきものを3DCG化したデジタルアーカイブについて述べる。

2. 江別市の観光資源

2.1 やきものとは

やきものとは、天然の土や粉末状にした石などを窯で焼いて作った器の総称のことであり、土器(どき)、陶器(とうぎ)、磁器(じき)、炆器(せっき)の4種類に分類される。現在、陶磁器の国内生産出荷額の落ち込みは激しく、11年前の半分(3036億円)に減っている。そこで、やきものを、生活用品などではなく、ファイン・アートという、芸術的価値を専らにする活動や作品として見直す動きがある。やきものをファイン・アートとして認識させることができれば、大きな需要が生まれる可能性がある。また最近では、海外で「日本文化はクール(かっこいい)」との認識が広まっており、各地の東洋古美術商の間で、日本の現代陶芸が着目されていることから、やきものの輸出のチャンスが訪れている。

2.2 江別とやきもの関係

古くは縄文時代の中頃、それまで南と北に分かれていた北海道の土器文化は、江別を中心とした石狩低地帯において融合し「江別式土器」「江別文化」と呼ばれる独特な土器文化を生み出した。市内の遺跡からの発掘品57点は、有形文化財に指定されている。江別のレンガ産業の歴史も北海道では古く百余年を数え、明治期から「野幌れんが」の名で知られ、現在も道内唯一のレンガ生産地として歴史を刻み続けている。そして戦後は、陶芸界で釉薬の第一人者だった小森忍が野幌に移住し、晩年を過ごした地でもある。ここで小森は、北海道の陶芸の基礎を築き上げた。これらが「江別市陶芸の里条例」を制定し、江別市が陶芸の里を目指した背景である。

連絡先: 斎藤 一, 北海道情報大学, 北海道江別市西野幌
 59-2, 011-385-4411, hajime@do-johodai.ac.jp

2.3 調査と分析

江別市では毎年、「えべつやきもの市」が行われており、イベントとして成功を収めているが江別市への観光には結びついていない。そこで、やきものまちと称している江別市で観光資源の基盤となっている窯業として、現在江別市内に存在・活動しているレンガ工場、陶芸作家の現状を調査・分析した。

(1) レンガ工場の現状

江別の土と砂を使ってレンガを生産し、主に本州に出荷している。しかし、レンガの単価が低いこと、耐震強度等の理由による需要の低下、公共事業から発展したために経営の拡大が難しいということから先細りが危惧されている。

(2) 陶芸作家の現状

江別市内で活動している陶芸作家達が年に1度、チャリティー展を行っているほか、「えべつやきもの市」にも出展している。江別市からの活動援助はほとんどされておらず、江別市の観光マップに名前が載っている程度である。

(3) 調査結果の分析

レンガ工場や陶芸作家達が、観光に繋がる活動をしていると同時に各々問題点を抱えていることがわかった。やきものまち江別として現在ある観光資源は有用性があるが、観光地としての江別市自体の認知度が低いこと、やきものまちと言いつつも江別市の協力体制があまり整っていないことが浮き彫りになった。

3. BSCによる観光戦略の分析

	戦略テーマ
財務的視点	江別市を訪れる観光客を増やす
顧客の視点	江別のやきもの認知度の向上 観光客の満足度の向上 リピーターを得る 客者の関心度向上
内部プロセスの視点	外国人観光客への利便性(ATM・案内などの充実) 他のやきもの生産地との協力強化 やきもの関連イベント(やきもの市など)主催との協力関係強化 やきものに関するWebサイトの構築 客者が集いやすい観光スポットの建設 江別をテーマにしたお菓子の開発(お土産・ケーキ屋) 交通の利便度向上 宿泊施設の増設
学習と成長の視点	やきもの文化の研究 英語力の強化 観光客のニーズ分析 他のやきもの生産地の分析 交通マップの研究 市内の観光客集客率の分析

図1 バランス・スコアカード

3.1 戦略BSC

前述した調査結果を基に、BSC(バランス・スコアカード)[ロバート・S. キャプラン 01]を用いて江別の観光戦略を分析する。BSCとは、企業や組織のビジョンと戦略を、4つの視点から

具体的なアクションへと変換して計画・管理し、戦略の立案と実行を支援するとともに、戦略そのものも市場や環境の変化に合わせて柔軟に適合させるための経営戦略立案・実行評価のフレームワーク、または、このフレームワークで利用させる達成目標と評価指標を記載したカードのことである。これまでの調査を基に、BSCを作成した(図1)。

3.2 江別の戦略マップ

戦略マップとは、目標とビジョンを達成するためのシナリオであり、目的を達成するために落とし込まれた各アクションの因果関係や関連を図式化したものである。また、戦略の全体像を把握することができるため、戦略策定の意義を認識するために非常に有効なものである[ロバート・S. キャプラン 01]。本研究では、今までの取材を基に江別の戦略マップを作成した(図2)。戦略マップにより、観光客増加には、観光客の満足度向上が欠かせないこと、満足度向上には、交通の利便性の向上や外国人観光客への配慮が必要であること。そして、これらを解決するには、交通マップの研究や観光客のニーズ分析が必要、といった戦略の一連の流れを把握することができる。

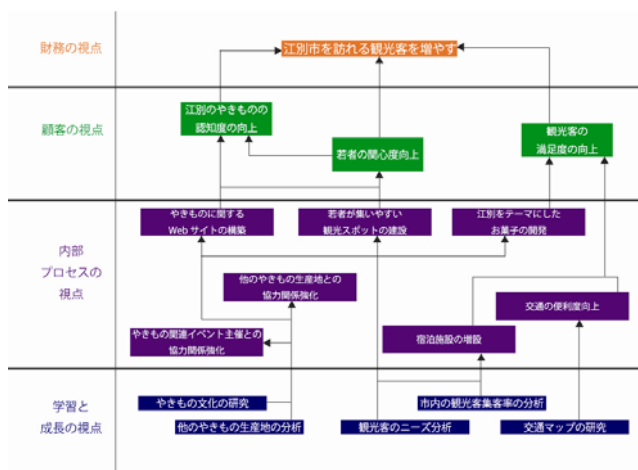


図2 江別市の観光戦略マップ

BSC および戦略マップには戦略の一つとしてやきものに関する Web サイトを構築することが挙げられている。これは、観光客のニーズ分析から、やきものに対して興味の少ない層に対するコンテンツが必要であるとの判断である。そこで、若者を対象としたコンテンツを充実させ、江別市とやきものに対して興味を持ってもらうことで江別市を訪れる観光客を増やすことを期待している。本研究では、江別市をやきものに興味を持ってもらうため、「やきものまち江別をPRするWebサイト」を開発している。

3.3 やきものの3次元データ化

上記 Web サイトのメインコンテンツとして、実際のやきものを非接触 3次元計測装置(Vivid910)を使用して、3次元データとして取得しデジタルアーカイブとすることを試みている。Vivid910は、複数枚の静止画像と距離画像から3次元形状を構成する。そのため、ターンテーブルに乗せた撮影対象を回転させながら複数回の撮影を行い、その画像を基に3次元形状を構成していく。



図4 3次元化したやきもののデータ

図4はこの方法を用いて取り込んだデータである。やきものを3次元データ化することにより、様々な角度からユーザの好きなように観察することができる。これにより、写真や絵等の2次元データよりも詳しくやきものを知ることができる。

また、SOM(Self-Organizing MAP)を用いて、作家の作品から受ける印象等の作風の変化や、常滑焼、有田焼等の焼き方による作品の違いを図表化することを試みている。これにより、作品の解説、焼き方の解説と併せ、陶芸の鑑賞の仕方を学ぶ手助けになると考えている。

4. まとめ

本研究では、江別市に存在する観光資源を有効活用するために、窯業等の現状を調査し、BSCを用いて江別市の観光戦略を策定した。また、現在構築中のやきものまち江別をPRするWebサイトについて説明した。今後は、サイトの公開にむけて3次元化したデータを更に増やしていく予定である。そして、江別市自体や、窯業関係者との協力関係を拡充し新たなコンテンツを提案していく必要があると考えている。

参考文献

[えべつやきもの市] <http://www.yakimono21.org/ichi/>
 [ロバート・S. キャプラン 01] ロバート・S. キャプラン、デビッド・P. ノートン著、櫻井通晴監訳：キャプランとノートンの戦略バランスト・スコアカード、東洋経済新報社(2001)
 [石井 07] 石井真人、斎藤一、向田茂、三浦洋、西平順、前田隆：やきものまち江別をPRするWebサイトの設計、Info Hokkaido 2007, (2007)

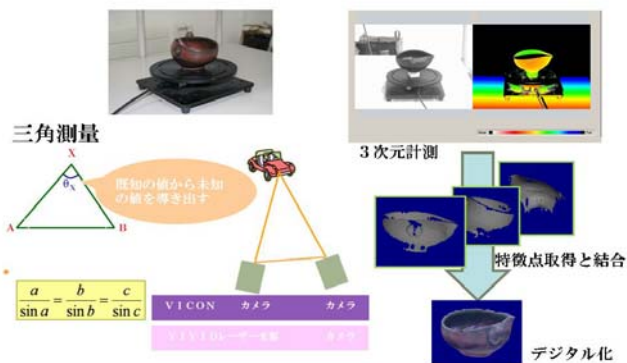


図3 3次元データの取得と加工